

はくぶつかんネット 59号

平成29年 4月~6月号

発行：宜野湾市立博物館



常設展示室が

リニューアルオープンしました！！

日に日に暑さが増してきていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

昨年12月から今年3月まで常設展示室の工事が行われ、4月22日(土)にリニューアルオープンし、オープニングセレモニーが行われました。



佐喜眞淳市長の挨拶



知念春美教育長からリニューアル整備を行った(株)丹青社(たんせいしゃ)に感謝状の授与。



当日は天候の悪い中でしたが、多くの方に式典にご参加頂き、ありがとうございました。



式典後は、さっそく新しくなった常設展示室へ。

こんなところが変わりました



↑③農耕の始まりと祭度の登場

「羽衣伝説」を映像で見ることができます。

③農耕の始まりと祭度の登場



↑宜野湾で見つかった土器を見る事ができます。

②自然に生きる

①宜野湾の大地のなりたち



↑①宜野湾の大地のなりたち

宜野湾市の大地の特徴の一つである湧き水のしくみについて解説しています。



↑④宜野湾間切の誕生

かんざしやキセルなど、今では見かけない道具も展示しています。

④宜野湾間切の誕生



*宜野湾市の地形模型

⑤中頭を中心-普天間



↑宜野湾にしかない軽便鉄道の台車を展示しています。

⑥戦場になった宜野湾

⑦宜野湾-戦後のはじまり

↓⑥戦場になった宜野湾

壕内で発見された生活用品を展示しています。



↓⑦宜野湾-戦後のはじまり

戦後の宜野湾の復興の歩みを紹介しています。



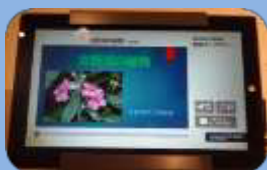
入口↓

展示室入口は、並松（ナンマチ）をイメージしており、小鳥のさえずりと、湧水の流れる音が聞こえてきます。



宜野湾を体感しにきてね♪

他にも！



タブレットを使って、宜野湾に関する遺跡や歴史、自然、行事などを見ることが出来ます。



地形模型の周りには、宜野湾クイズがあります。全問正解目指してチャレンジしてみよう！



ジェラルミン製の食器や瓶でできたコップも一部自由に触れます。



リニューアルオープン記念展 宜野湾、あんやたん!

常設展示室のリニューアル記念展として、「宜野湾、あんやたん!」(4/22<土>~6/4<日>)を、開催しています。「あんやたん」とは、ウチナーグチで「ああだった」、「そうだった」という意味です。1960~80年代の懐かしい宜野湾の写真を紹介しています。宜野湾の街並みの移り変わりや市昇格、アメリカ世への世替り、宜野湾のさまざまな産業、1964年の東京オリンピックの聖火リレーや1973年の若夏国体の様子、懐かし子ども時代の写真など合計で159点が展示しました。

企画展の様子



約1,000名の方が足を運んでくださいました! 沢山のご来場ありがとうございました♪



『写真集ぎのわん』も必見!

明治から現代まで、昔懐かしい宜野湾の風景や時代とともに移りゆく人びとの生活が写しだされた写真集です。今回の企画展で展示されている写真も多数掲載されています。閲覧もできますので、ご希望の方は窓口までお声かけください。

おすすめ



1,500円(税込)

次回企画展予告 6/14(水)~7/2(日)

【慰霊の日写真パネル展】
 沖縄戦の中の宜野湾~巻き込まれる子ども達~
 写真パネルを中心に戦中の宜野湾の風景や、沖縄戦の概要をふまえ、戦中の宜野湾や住民の様子、沖縄戦により変貌した宜野湾を紹介します。

関連講座

6/25(日)

戦争体験を語る(講演)
 講師: 伊波 義夫
 *室内講座: 定員50名
 *会場: 宜野湾市立博物館
 *受講料: 無料

市史より がちまやあ Gači-majaa



1970年代の高度経済成長期、国道330号(元軍用道路5号線)に中古車店が続々と出店しました。今回は県内でも屈指の中古車街道である330号の我如古十字路から野嵩までを取り上げます。

1984(昭和59)年、中古車店の数は34店舗以上になり当時、宜野湾中古車街道は県内の約50%のシェアを占め、県下に知られていました。中古車のメッカと言われ、遠くから中古車を求める客で、にぎわっていました。



↑1980年代「中古車街道の案内板」



↑規模拡大に向かう1980年代



「流通センター」宜野湾市からの土地譲渡が決まり1980(昭和55)年12月に、大山に落成しました。オートオークションは年16~24回行われ、活発な事業を展開していました。



↑オークションの様子 1980年代



以前は、車は高価な買い物で、銀行からお金を借りる時に車には担保価値があるとされたんじや。それで購入するときには印鑑登録証明書が必要となったんじや



タワタ自動車(株)1980年代

★ ←1980年代の自動車販売店の場所を表示しています

復帰以前は、ハンドルが右だと追い越す時に危なくて事故も多かったのよ。右ハンドルよりは左ハンドルの車がよく売れたものよ。



毎年、業者の固い結束の下に、1千台の車を準備して「中古車ジャンボフェア」が、現在の市役所前の市民広場で行われました。4日間で3億余りの売上を達成するという大きな成果を納める年もあり業界の注目の的でした。



730記念中古車ジャンボフェア 1987年



福祉団体へのバス贈呈式 1980年代 普天満宮



正自動車 1980年代



KM自動車 提供 1980年代



330号(長田~愛知)

愛知歩道橋からの眺めだよ



長浜モーター 1980年代



第1回ビーチパーティでのバレーボール大会

ジャンボフェアの売上金から県民の皆様へ感謝の気持ちを込めて、社会還元として毎年宜野湾市の社会福祉関係へ寄附していただんだよ



↑ 展示即売会の様子

ビーチパーティ・バレーボール大会・ソフトボール大会など開催して事業者同士の交流も行われていました。

県中古自動車販売協会宜野湾支部の結束は固く、毎年サマーパーティーと忘年会を楽しく開催していたとのことで、チームワークも良く全国でも例をみない官民一体のフェアが行われていたことが分かりました。今回の「がちまやあ」作成にあたり、中古車店の皆様へお話を伺いました。ご協力していただいた皆さま、お仕事の手を止めてお話しをお聞かせ下さり、誠にありがとうございました。



平成29年度 市史編集事業の案内

『宜野湾市史』伊佐浜の土地闘争編

大変長らくお待たせしております。『宜野湾市史』第8巻戦後資料編Ⅱ「伊佐浜の土地闘争」は、平成30年度に刊行できるよう編集作業を進めています。もうしばらく、お待ちくださいませ。

その伊佐浜の土地闘争とは、1955(昭和30)年、米軍によって強制的に行われた土地接收です。同じ時期に、米軍による土地接收は県内各地で起こり、土地を奪われた住民は抵抗を続け、後に“島ぐるみ土地闘争”へ発展しました。

本編では、伊佐浜の土地闘争に関する資料や、聞き取り調査での証言を収録します。また資料等は、より見やすくするため、データディスクに収録し、付属する予定となっております。



『写真集 ぎのわん』より

歴史公文書等整理・活用事業

宜野湾市の戦後初期から本土復帰、それ以降の歴史的・文化的価値を有する公文書を整理し、保存・公開して市民の利用に供することを目的に、公文書のデータベース化をすすめています。本年度は、これまでの整理済の公文書の傾向をふまえて公開基準案を作成し、一部公開を目指します。



新刊案内『ぎのわんのサングワチャー』

平成24年度より調査を進めてきました、サングワチャー(3月踊り)の調査報告書がついに発行しました。これまでの調査にご協力いただいた皆様、大変お世話になりました。

報告書には我如古と宜野湾の行事の様子を収録したDVDを付属しています。ぜひご覧ください。



販売価格:2,000円(税込)

『宜野湾 戦後のはじまり [第2版]』

本市における戦後の様子をわかり易くまとめた、歴史と現在が学べるビジュアル本です。沖縄戦の様子や、戦後の復興、米軍支配下の様子など体験者の証言も一緒に知ることが出来ます。



販売価格:700円(税込)

市史の販売先:宜野湾市立博物館

平成29年度年間行事カレンダー

企 画 展	市 民 講 座
<p>【常設展示室リニューアルオープン記念展】 宜野湾、あんやたん！4/22(土)～6/4(日)</p>	<p>① 伝統芸能 宜野湾市のサングウチャー 5/28(日) 講師：比嘉 悦子（沖縄県立芸術大学非常勤講師）</p>
<p>【慰霊の日写真パネル展】 沖縄戦の中の宜野湾～巻き込まれる子ども達～ 6/14(水)～7/2(日) *戦中の宜野湾や住民の様子、戦後変貌した宜野湾を紹介します</p>	<p>② 戦争体験を語る 6/25(日) 講師：伊波 義夫 ③ 比屋良川の自然（野外） 6/11(日) 講師：千木良 芳範（宜野湾市立博物館館長）</p>
<p>【夏の企画展】紙ってるね！沖縄の動物たち 7/19(水)～8/21(月) *折り紙が作り出す沖縄の動植物</p>	<p>④ 宜野湾の自然（動物編）7/9(日) 講師：千木良 芳範（宜野湾市立博物館館長）</p>
<p>【秋の企画展】宜野湾探訪！-新たな宜野湾発見- 9/6(水)～10/15(日) *これまで宜野湾で行われた様々な調査で発見された資料を展示します！！</p>	<p>⑤ 旧石器人とその文化を探る 9/10(日) 講師：山崎 真治（沖縄県立博物館学芸員） ⑥ 闘牛観戦ツアー（野外）9/17(日) 講師：宮城 邦治（沖縄国際大学名誉教授） ⑦ 考古学から見た宜野湾 10/22(日) 講師：池田 榮史（琉球大学教授） ⑧ 疎開先を訪ねて（野外） 10/29(日) 講師：仲村 元惟（宜野湾市史編集委員会委員）</p>
<p>【小・中学校連携展】 第26回ぎのわんの文化財図画作品展 10/28(土)～11/12(日) *市内小学生（3～6年）、中学生の描いた宜野湾市内の文化財を紹介します。</p>	<p>⑨ 琉球王国と宜野湾 11/5(日) 講師：麻生 伸一（沖縄県立芸術大学講師） ⑩ 中城城跡～護佐丸の足跡～（野外）11/26(日) 講師：仲村 春吉（中城村文化財案内人グスクの会）</p>
<p>【ぎのわん教育の日 関連企画展】琉球の植物展 11/25(土)～12/17(日) *琉球列島に生息する様々な植物を紹介</p>	<p>⑪ 琉球の植物 12/3(日) 講師：國府方 吾郎（国立科学博物館研究員） ⑫ 碑文めぐり（野外）12/10(日) 講師：恩河 尚（沖縄国際大学非常勤講師）</p>
<p>【地域との連携企画展】ぎのわんの字展～野嵩編～ 1/24(水)～3/4(日) *宜野湾間切り誕生と共に宜野湾に有り、戦中戦後の宜野湾の中心であった“野嵩”。「村芝居」や「ちなひちもうい」などの伝統芸能も盛んな地域と連携して、企画展を開催します。</p>	<p>⑬ 紅茶の話 1/14(日) 講師：後藤 健志（沖縄県農業研究センター研究員） ⑭ 近世におけるノロの継承と就任 2/25(日) 講師：儀間 淳一（沖縄国際大学非常勤講師） ⑮ めぐていイガルーシマ～野嵩編（野外）～2/4(日) 講師：平敷 兼哉（宜野湾市立博物館学芸係長）</p>

宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜1-25-1
TEL(098)870-9317 FAX(098)870-9316

■入館料：無料

■開館時間：午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

■休館日：毎週火曜日、祝祭日、年末年始
(文化の日、慰霊の日は開館します)

※火曜日と祝祭日が重なった場合、翌日の水曜日
も休館になります。



職員紹介



館長：千木良 芳範

平成29年4月22日、皆さんが待っていた博物館の常設展示室がリニューアルオープンしました。新しい展示室には、大山洞人の化石や軽便鉄道の台車などの宜野湾にしかないものから、リュウキュウヤマガメの化石、道路元標、大山式土器など、他の博物館ではあまり見ることができないものなど、宜野湾自慢がいっぱいです。これらの展示物を見ながら、自分が自慢したい「宜野湾もの」をさがして楽しむのもいいですね。

また博物館では、常設展示室のリニューアルに併せて、いままでの博物館行事をボリュームアップしたり、バージョンアップしました。例えば博物館市民講座は、今年は野外講座と室内講座の二本立てにして、ほぼ毎月2回の実施になりました。内容も宜野湾の自然、歴史、文化と変化に富んで、面白い話が満載です。その他企画展の回数を増やしたり、夏休みこども博物館を開催したり、もちろん「わらば一体験じゅく」もいつものようにあります。博物館は、いろいろな催し物で、皆さまの来館をお待ちしています。

新採用職員紹介

■ 田中 樹 (学芸担当嘱託職員)

今年度からお世話になっている田中と申します。以前もこちらでお世話になりましたが、久しぶりの博物館は「な・なんと！」常設展示室がリニューアルしていて、すごく爽やかに生まれ変わり、私も新鮮な気持ちで業務に携わっています。新生博物館へ、ぜひ、遊びにいらして下さい♪

■ 神谷 遥 (市史編集担当嘱託職員)

4月より市史編集を担当しております、神谷遥です。『宜野湾市史』伊佐浜の土地闘争編の刊行を目標に頑張ります。初めての事ばかりで不慣れな部分がありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

みなさまのご来館を職員一同お待ちしております



- 千木良 芳範 (館長)
- 平敷 兼哉 (学芸係長)
- 仲村 健 (担当主査)
- 我如古 香 (学芸担当嘱託員)
- 田中 樹 (学芸担当嘱託員)
- 比嘉 三紀子 (市史編集担当嘱託員)
- 神谷 遥 (市史編集担当嘱託員)
- 吉元 可奈恵 (住民票等交付担当臨時職員)
- 譜久島 宏美 (住民票等交付担当臨時職員)